

教育研究業績書

令和7年5月1日

氏名 藪 敏晴

研究分野	研究内容のキーワード	
日本古典文学（古代） 日本語表現・キャリア支援 短期高等教育	神話・説話・仏教・歴史叙述 短期大学・専門学校・キャリア教育	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例		
佐賀女子短期大学公開授業「世界の神話と宗教」	平成 15 年 12 月 8 日	佐賀女子短期大学の FD 研修の一環として、文化コミュニケーション学科で開講している当該科目の公開授業を行なった。
佐賀女子短期大学公開授業「世界の神話と宗教」	平成 18 年 12 月 6 日	佐賀女子短期大学の FD 研修の一環として、文化コミュニケーション学科で開講している当該科目の公開授業を行なった。
佐賀女子短期大学公開授業「ことばとコミュニケーション」	平成 19 年 12 月 10 日	佐賀女子短期大学の FD 研修の一環として、人間生活学科生活専攻で開講している当該科目の公開授業を行なった。
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		
国立大学法人佐賀大学教育功績等表彰	平成 20 年 10 月	佐賀大学の教育功績等表彰規程及び同表彰者推薦基準に基づき、佐賀大学への教育への功績により、第 2 号表彰者（授業の実践で特に優れた功績のあった非常勤講師）に選出され、長谷川佐賀大学学長より表彰を受けた。
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月	概 要

	日	
1. 資格、免許		
文学士(國學院大学)	昭和 60 年 3 月	
文学修士(國學院大学) 文修第913号 論文「日本霊異記の編纂意図」	平成 2 年 3 月	
高等学校教諭専修免許状(国語) 平2高 専第10397号	平成 2 年 3 月	
中学校教諭1種免許状(国語) 平2中1第1 9224号	平成 2 年 3 月	
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者につ いての特記事項		
4. その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文 等の名称	単著、共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名 称	概 要
(著書)				
1. 説話論集第十 六集	共著	平成 19 年 6 月	清文堂	「日本霊異記の神々」(P 1 0 1 ~ P 1 2 7) 本田義憲氏が「神話的想像力と、もと文化衝撃としての仏教的想像力と、これらが、互いに揺り動かし動かされながら、展開した」と指摘したように、説話世界では多様な想像力が輻輳し絡み合いながらその風景が形づくられていった。仏教の伝来と浸透、定着およびその展開の過程に成立した『霊異記』の風景の中で、神々はどのように変貌し、あるいは変貌しなかったのか、記紀風土記の神々との対照を通じてその一端を考えてみた。 著者：小川豊生、伊藤聡、出雲路修、

				藪敏晴、新聞水緒、寺川真知夫、横田隆志、金文京、齋藤真麻理、西山郷史
2. 短期大学教育 の新たな地平	共著	平成 30 年 6 月 10 日	北樹出版	第 2 部第 1 章第 1 節「知力を突き抜け、社会へ突破する力」(P72-81)、第 2 章第 1 節「学生合同アクティビティの展開」(P88-90)、第 3 章第 2 節 2-1「短大生のレディネス調査とカリキュラム改革」(P123-133) 本書は、藪が事業推進委員長を長年務めてきた短期大学コンソーシアム九州の 16 年に及ぶ活動について、特に、大学間連携 G P の活動を中心に振り返り、まとめたものである。藪の担当した部分は以下の 3 つである。短大の将来構想に関する調査・研究の総括 (2-1-1)、合同で行なってきた学生アクティビティの意義 (2-2-1)、科研費を取って実施したレディネス調査とその成果を活かしたカリキュラム改革の概要 (3-2-2-1) 編著者：安部恵美子、南里悦史 著者：佐藤弘毅、藪敏晴、久保知里、桑原哲章、中濱雄一郎他
(学術論文)				
1. 大学間連携 G P の取組に向けてー短期大学コンソーシアム九州のこれまで	単著	平成 25 年 3 月 15 日	『短期大学コンソーシアム九州紀要 短期高等教育研究』3 短期大学コンソーシアム九州研究センター	報告：大学間連携 G P での取り組みを実りあるものとすべく、短期大学コンソーシアム九州のこれまでの活動を報告した。(P 3 5 ~ P 4 1)
(その他)				
1. 短期大学における卒業生調査の活用ー佐賀女子短期大学のケース	単独	平成 25 年 3 月 9 日	国際セミナー『高等教育システムの機能的分化と質保証ー非大学型アプローチ』 ホテルレガロ	口頭発表：短期大学における質保証システムの一例として、佐賀女子短大における卒業生調査活用の事例を報告した。